



プロの株式評論家もハマってる?

バーチャル株投資ゲームで目指せ! 資産倍増!!

インターネットの発達を普及にとめない、ネット証券の利便性が高まってきた。ITを活用することによって、従来の投資家像とは異なる新しい投資家の登場も予想される。そこで、実際のネット株投資に大いに役立つと話題のバーチャル株投資ゲーム「トレーディング・ダービー」を紹介しよう。



URL: <http://www.k-zone.co.jp/realtime/index.html>

Nakajima Kiyoshi

中島清視

株式投資の模擬試験

読者のほとんどは高校や大学に入學する際に、入学試験というものを経験していることだろう。そして、本書の試験を返せる前には、準備金などが主眼とする模擬試験というものを、一度や二度は経験しているに違いない。入試に限らず、公的資格を取得する際には、模擬試験を受けて、自分の実力を測り、どのように勉強を進めていくかの目安として使っていることだろう。いわば、実際のシミュレーションをする機会がこうした分野では以前から豊富に与えられていた。

しかし、公的資格などを取得の多い株式投資の世界では、従来の投資の仕方を経験しても、実際の投資の前に自分の実力を測る機会は何にも与えなかった。ところが、最近急速に普及するインターネットを利用した、株式投資のシミュレーションの

場を提供する企業が増えてきている。これにはもちろん、インターネットを利用した株取引の普及やミニ株取引によって従来の十分の一の株数で取引ができるようになった結果、個人投資家の参入がしやすくなったことがその背景にある。もちろん、最も大きな要因はインターネットそのものの急激な普及である。

バーチャル株だけどリアル

いずれにしても、従来の、入門者や新興などで勉強したリアリティという、ややもすると、大切なお金を投資するには危ないかしかつた株式投資の道に、シミュレーションによる訓練の場が一つのステップとして関わってきたのは、個人投資家にはありがたい。

バーチャル株投資ゲームなどと呼ばれている。この株式投資シミュレーションゲームの世界で最近話題

を集めているのが、随々オンライン版京都中央区「古沢武司社」が主催している「トレーディング・ダービー」だ。このゲームの特色は、ゲーム感覚で株取引を楽しみながら、無試しができるというところにある。もちろん、本番は現実の株取引とはほとんど同じなものは言わずもたない。

ゲームの内容を紹介しよう。まず参加者全員に1億円のお金(もちろん仮想のお金)が一律に与えられる。この1億円の資金を約3ヶ月の間、どれだけ増やすかを競い合うというものだ。ただし、1銘柄に投資できる上限は1億円の10%となっている。これは特定の銘柄に資金を集中させて、大きなリターンを得るといって、いわゆる「専断型」参加者が優勝することを防ぐという意図だ。あくまでも幅広い銘柄に投資をして、販を

買ってもらおうというのがこのゲーム

ミニ株取引

正式には株式ミニ投資制度という。従来の株取引は最低100株単位、300円から100株単位だったが、個人投資家が特に手軽に参入しやすくするために

に、半分の100株単位で売買可能にした。ただし、公開しているすべての株がミニ株取引できるわけではないのだから、銘柄会社によって制限も異なる。